

【23_196技術系メルマガ】目線否定(切り替わり)の基準

〇〇さん

こんにちは、クロです。

僕が常々意識しているトレードの基本動作は

- ・基準とする時間足で『目線(エントリー方向)』を決める(H1足)
- ・『目線』に沿った『短期足のセットアップ』を待つ(M15足以下)
- ・上位足におうかがいを立て、『空間』を把握する(≡環境認識、H4足以上)

こんな感じの手順です。

ですので、いざエントリートリガーを引く手前ではひたすらセットアップの待ち合わせ場所にプライスが届くのを待つことになります。

ですが、相場というのは常に自分の思う通りに動く事の方が少ないと言っても過言ではありません。

更に、自分の組み立てたトレードプランも、状況によってはいともあっさり崩される事だって珍しくありません。

今日は、少々技術的な話になりますが

そういった自分の組み立てたプラン・目線が『崩された』と判断するためにどんなことに僕が注目しているのかを

現状のスタイルを軸に説明したいと思います。

┌
└─ ■ これもまた、大事な『基準』
└──────────────────┘

僕は常に、トレードは『自分の基準』を作る事が大事であるとしつこくお伝えしていますが

目線、セットアップを自分の『基準』で定めているように

それが崩されたと判断する条件も自分で『基準』を定めておくことによって、迷わず見切りを付ける判断をすることができます。

その例として、以前ツイッターで少々抽象的にその事例をチャートで示したことがあります。

▼ショート目線否定の境目の例▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1678635498804490241?s=20>

これ、引用リツイートして答えをそのものズバリ書いてくれた人がいますので(時間がある人は探してみてください(笑))

種明かしをしますが、非常に古典的な判断基準です。

それは『20MAによる40-50MAのゴールデンクロス』です。

添付したチャートはユーロドルのM5足ですが、縦線で隔てた左側まではショートが目線でエントリーを探っているところでした。

ですが、右側に推移する中で、短期(20、赤)のMAが40-50MA(緑、黄土色)のMAを追い越す(ゴールデンクロス)する事によって

『短期的な流れとして買いが強くなってきた』と認識し、ショートプランを取り下げました。

その後は結果的に上昇する事になったので、ショート見送りの判断をしたことで、ひとつ無駄な損失を減らすことに繋がりました。

これはあくまでも結果論であって、見送っても目線通りにプライスが推移する事だってありますが

大事なものは値動きの挙動を充てる事ではなく、エントリー/見送り/決済の判断を、今日説明したような要領で

『自分の定めた基準によって一貫して判断する』ということなのです。

そして、その基準に沿って判断を繰り返した結果、勝ち負けを積み重ねてトータル収支がプラスになれば

それは勝てるトレードルールとして機能していることとなります。

講座やサロンでは、このような『自分の基準』を自分なりに定義し、それに従ったトレードを徹底できるように訓練してもらっています。

中には違うスタイルを学んでいたりと、独学で取り組んでいる方もいると思いますが

どんなやり方であっても、この『基準』という考え方は普遍的であるはずですので、取り組むときに意識してみてください。